

ご参考:「定年後の夫の家事に関する意識調査」の概要

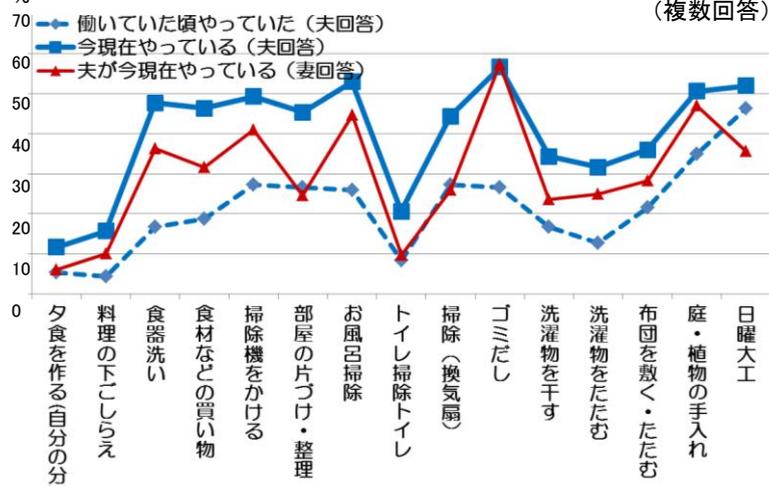
- 調査方法 : Web 調査
- 調査対象 : 回答者数 600 名
 男性 300 名 (定年退職後で現在無職の 60 歳以上) 女性 300 名 (該当する男性を夫に持つ 45 歳以上)
 家族形態: 夫婦 2 人暮らし 住まい形態: 戸建 400 名 マンション 200 名

■調査結果

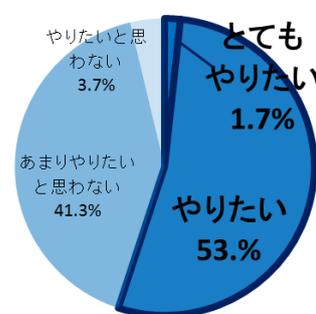
(1) 定年退職後の家事参加は現役時代に比べて増え、やりたい意識は高い(55.0%)

料理、掃除、片付け、洗濯などいずれのジャンルにおいても、定年後の夫は現役時代よりも家の事に関わっており、また、やりたいと思っている夫が半数を超えることがわかりました。また、積極的に取り組みたいと思う理由の1位は「妻の負担を減らしたい(70%)」、2位は「自分のことくらいは自分でできるようにしたい(51%)」、3位は「生活リズムをつくるため(27%)」、4位は「いい運動になるから(25%)」(複数回答)で、様々な効果を期待していることがうかがえました。

Q: あなたが (夫は) 現役時代と現在 (定年後) でやっている家の事は? (複数回答)



Q: 家事など「家の事」をどの程度やりたいですか



夫: n=300

妻: n=300

夫: n=300

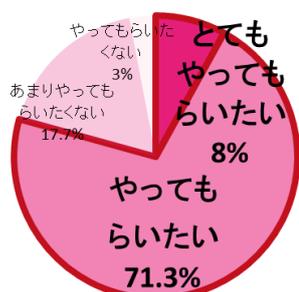
また、夫が家事など家のことを「やりたいと思っているが、できない理由」については、1位「やり方がわからない(25%)」、2位「キッチンが妻の聖域なので入ると文句を言われる(21%)」、3位「キッチンに 2 人で作業するスペースがない(16%)」、5位「収納スペースが少なく片付けづらい(14%)」となっており、夫が家の事に参加しづらいのは間取りにも理由があることがうかがえました。

(2) 定年退職後の夫に家事をやってもらいたい妻は多い(79.3%)

約 8 割の妻が、夫が家事に取り組んでほしいと思っており、夫が家事に取り組むことに対しても、約 9 割の妻がうれしいと感じており、夫の家事参加を非常にポジティブにとらえていることがわかりました。

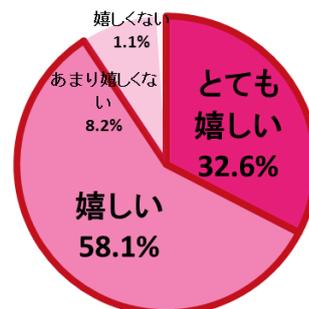
具体的にやってもらいたい家の事では、1位「ゴミだし(56%)」、2位「お風呂掃除(54%)」、3位「掃除機をかける(51%)」、4位「洗濯もの取込み(47%)」、5位「食器洗い(43%)」で、比較的簡単な家のことはやってほしいと感じているようです。

Q: 家事などの「家の事」を夫にやってもらいたいですか



妻: n=300

Q: 夫が「家の事」をやることについて率直にどう思いますか



妻: n=279

(3) 積極的に家事に取り組む夫の生活が充実している割合はしない夫の約2倍

家事に積極的に取り組む夫の31.6%が「毎日楽しく生活を送れている」と明確に回答したのに対し、家事をやらない夫は16.7%にとどまりました。また、「健康的な生活を送れている」と回答した夫の割合も、家事に積極的に取り組む夫は38.6%だったのに対し、家事をやらない夫は16.7%と半数でした。生活のリズムをつくるのにも、家事参加が役立っていることが伺えます。

	毎日楽しい生活を送れている	健康的な生活を送れている
20項目以上家事をやっている夫(n=57)	Yes 31.6%	Yes 38.6%
10～19項目家事をやっている夫(n=118)	25.4%	22.9%
10項目未満家事をやっている夫(n=113)	18.6%	16.8%
やっていない夫(n=12)	16.7%	16.7%

(4) 積極的に家事に取り組む夫の妻は、ストレスを感じにくく、また夫婦円満だと感じる傾向

夫が定年退職し在宅時間が増えることで妻がストレスを感じる割合について、積極的に家事に取り組む夫の妻は18.2%と低いのに対し、やっていない夫の妻は47.6%と高く、夫の家事取り組み率が妻のストレスを左右することがわかりました。さらに、積極的に家事に取り組む夫の妻は「夫婦円満である」と答えた割合が45.5%と約半数であるのに対し、やっていない夫の妻は19.0%と、夫婦中にも大きく影響することがわかりました。

	夫婦で顔を合わす時間が増えて、 ストレスが増えた	家庭は、夫婦円満である
20項目以上家事をやっている夫の妻(n=22)	18.2%	Yes 45.5%
10～19項目家事をやっている夫の妻(n=115)	18.3%	34.8%
10項目未満家事をやっている夫の妻(n=142)	18.3%	26.1%
やっていない夫の妻(n=21)	Yes 47.6%	19.0%

(5) 2階建ての家よりワンフロアの家に住んでいる夫の方が、家事取り組み率が高い傾向も

住まいの形態と夫の家事参加率についての影響について参考にするため、2階戸建ての住まいと、マンションに暮らす夫の家事取組率を比較しました。その結果、2階建てに住む男性よりも、ワンフロアのマンションに住んでいる男性の方が家事の取組率が高く、生活をワンフロアにまとめ、暮らしやすい環境にすることが、夫の家事参加を促すきっかけになりうる可能性も見てとれました。

	2階建て(n=200)	マンション(n=100)
洗濯物を取り込む	41.5%	53.0%
家族に振るまう食事を作る	11.5%	19.0%
フローリング用の掃除器具を使った掃除をする	20.0%	29.0%

<本件に関するお問合せ先>

〒160-8345 東京都新宿区西新宿 1-24-1 エステック情報ビル
 旭化成ホームズ株式会社 広報室
 (電話)03-3344-7115 (FAX)03-3344-7050(メール)j-koho@om.asahi-kasei.co.jp